



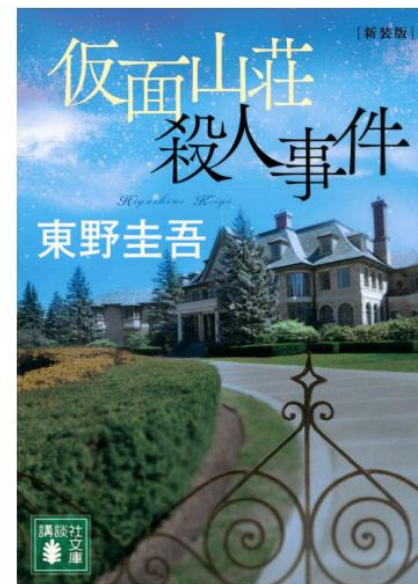
おすすめの本紹介

紹介者32HR
佐藤結菜
長島沙優希

仮面山荘殺人事件

著者:東野圭吾

ビデオ製作会社を経営する樫間高之の婚約者・森崎朋美が交通事故で亡くなった。その三ヶ月後、森崎家の別荘で亡き娘を悼むために親族や友達、男女7が集まった。しかし、平穏だった集まりこの集まりは一変してしまう。なんと、逃亡中の銀行強盗が侵入し、彼らは監禁されてしまうことに。恐怖と緊張が高まる中、あらたな事件が発生する。集まりに参加していた女が、何者かに背中をナイフで刺されて殺害されてしまうのである。強盗犯の仕業かとも思われたが、状況から考えて、犯人は強盗たちではありえず、この山荘の集まった残りの男女七人のうちの誰かの可能性が高かった。銀行強盗の侵入に乗じて、女を殺害したのは一体誰なのか？そこには、驚くべき事実が隠されていた。



店長がバカ過ぎて

著者：早見和真

谷原京子、二十八歳。吉祥寺の書店の契約社員。超多忙なのに薄給。お客様からのクレームは日常茶飯事。店長は山本猛という名前ばかり勇ましい「非」敏腕。人を苛立たせる天才だ。ああ、店長がバカすぎる！毎日「マジで辞めてやる！」と思いながら、しかし仕事を、本を、小説を愛する京子は――。全国の読者、書店員から、感動、共感、応援を沢山いただいた、二〇二〇年本屋大賞ノミネート作にして大ヒット作。図書館にもあるので、ぜひ読んでみてください。

